

復職名人 サービス紹介資料

復職名人

業務遂行レベルに基づくメンタルヘルス対応を日本で唯一行なっている人事コンサルタント企業です。

2019年の創業以来、全国の基礎自治体を中心に、メンタルヘルス対応の支援を実施しています。

弊社で提供しているメンタルヘルス不調者対応支援サービス

- 担当者向けマニュアルの提供
- 運用時に使用できる動画ツールの提供
- 復職名人オンラインスクール
- 個別の事例対応支援
- 導入および運用に関する支援のための定例MTG
- 管理職向け・職員向け研修
- 規程類の改正・策定支援
- 無制限メールサポート

サービス比較

	フルサポート	スタンダード	ベーシック
担当者向けマニュアル	カスタマイズ可 無期限で使用可能	カスタマイズなし 1年限定	カスタマイズなし 1年限定
動画ツール	カスタマイズ支援あり 無期限で使用可能	軽微なカスタマイズのみ 1年限定	軽微なカスタマイズのみ 1年限定
オンラインスクール	○（1年分）	○（1年分）	○（1年分）
個別の事例対応支援	月1事例分	月1事例分	月1事例分
定例MTG	○（2ヶ月に1回）	-	-
管理職・職員向け研修	○（1回2時間）	○（1回2時間）	-
規程類の改正支援	○	-	-
無制限メールサポート	○	○	-

メンタルヘルス対応マニュアル

内容

メンタルヘルス対応を実践する際に用いる、担当者向けマニュアルを提供します。

ポイント

- 手順と様式の使用方法、事例の対応方法を中心に、運用面に関して、書籍等では公開していない内容も含めて、具体的な解説をしています。
- （フルサポートプランの場合）編集可能なファイルをお渡ししますので、個別カスタマイズ可能です。また添削も承ります。
- （スタンダードプラン・ベーシックプランの場合）1年間ご利用可能です。利用者からの質問等を反映して、定期的にアップデートを行います。

対応の流れ

- （フルサポートプランの場合）マニュアルのファイルをご提供いたします。カスタマイズ後の添削についても承りますので、ご連絡ください。
- （スタンダードプラン・ベーシックプランの場合）オンラインスクール内にアップロードされているマニュアルを、各自でダウンロードするなどしてご利用ください。

ご対応いただく必要があること

（スタンダードプラン・ベーシックプランの場合）契約終了時に、保存・保管しているマニュアルは、必ず返却いただくか、各自で滅却処分をしてください。

メンタルヘルス対応動画

内容

メンタルヘルス対応の運用時に使用できる説明動画セットをご利用いただけます。説明動画をそのまま使用することで、本人向けの説明を省力化可能です。

ポイント

- 本人との面接の際に使用できる説明動画セット（療養開始時説明、復帰準備期説明、予備面接前説明、復帰判定面接）を用意しています。
- （フルサポートプランの場合）動画の内容に関するカスタマイズについて承ります。
- （スタンダードプラン・ベーシックプランの場合）1年間ご利用可能です。団体名や社名、部署名等の簡易な変更については、無償にて承ります。また利用者からの質問等を反映して、定期的にアップデートを行います。

対応の流れ

- （フルサポートプランの場合）動画の内容に関するカスタマイズについて承りますので、ご連絡ください。
- （スタンダードプラン・ベーシックプランの場合）オンラインスクール内にアップロードされている動画をご覧ください。動画ファイルのダウンロードが必要な場合や、簡易な変更が必要な場合は、別途ご連絡ください。

ご対応いただく必要があること

（スタンダードプラン・ベーシックプランの場合）契約終了時に、保存・保管している動画ファイルは、必ず返却いただくか、各自で滅却処分をしてください。

復職名人オンラインスクール

内容

メンタルヘルス不調者対応に関する、オンライン研修の受講、および過去の事例・質問をまとめたオンラインデータベースをご利用いただけます。対応方法の学習が可能です。

ポイント

- ・ オンラインで実施する研修に参加いただけます。
- ・ 研修動画のアーカイブについては、過去の動画を含めたすべての動画をいつでも視聴可能です。
- ・ オンラインでの個別相談会・事例検討会も開催しています。
- ・ よくある質問や、これまで私たちが対応支援をした事例、研修動画などをまとめた、オンラインデータベースサービスをご利用いただけます。

対応の流れ

- ① アカウント発行を希望するメールアドレスをご連絡ください（最大5アカウントまで発行できます）。
- ② 連絡いただいたメールアドレスをもとに、アカウントを発行します。

貴市にご対応いただきたいこと

- ① アカウント発行を希望するメールアドレスをご連絡ください（最大5アカウントまで発行できます）。

高尾メソッド習得コース

高尾メソッドを新たに導入する企業・自治体のご担当者や新任のご担当者向けに、手順と様式に関する詳しい解説を行う研修を実施します。

ビギナークラス

初めて高尾メソッドを学ぶ方を対象に、基本的な考え方から、押さえておきたいポイントまで、1年かけて網羅的に学習します。

中級者向け応用研修

高尾メソッドの基礎的な知識を背景に、応用的なテーマについて取り上げます。

Eラーニング（ストック動画）の一例



KIR ナレッジリング Knowledge Ring

キーワードを入力してください。 こだわり条件 検索

お知らせ 研修・動画 | オンラインスクール ビジネスクラス 事例集 質問集 資料集 **アーカイブ動画** 管理者用

新着記事一覧
あたらしく投稿された記事の一覧を表示

2024年04月16日
メンタルヘルス総論_2024

2024年02月01日
合理的配慮(2023年度版)

2023年07月31日
ストレスチェック制度_2023

2023年07月10日
メンタルヘルス対策総論

2023年03月06日
安全配慮義務とメソッド_2022

2023年03月06日
メンタル対応の手順と様式_2022

2023年03月06日
メンタル対応_2022

2023年03月06日
面接シナリオ基礎_2022

2023年03月06日
労務管理知識_2022

2023年03月06日
産業保健総論_2022

メンタルヘルス総論_2024

カテゴリ: ホーム > アーカイブ動画 > メンタルヘルス対応
掲載日: 2024年04月16日 | 作成者: 復職 名人 | 更新日: 2025年04月08日 | 更新者: 復職 名人
| 評価数: 0 | 閲覧数: 92 | [この記事を印刷する](#) | [記事を編集する](#)

このコンテンツの受講状態を記録しましょう

受講中 受講済み

2024年4月WEBレク (メンタル総論2024)

メンタルヘルス対応総論
(原職復帰の原則)

岡山大学 高尾総司
2024年4月

41:54

メンタルヘルス対応総論
(原職復帰の原則)

岡山大学 高尾総司
2024年4月

Google Slides

このページのトップへ

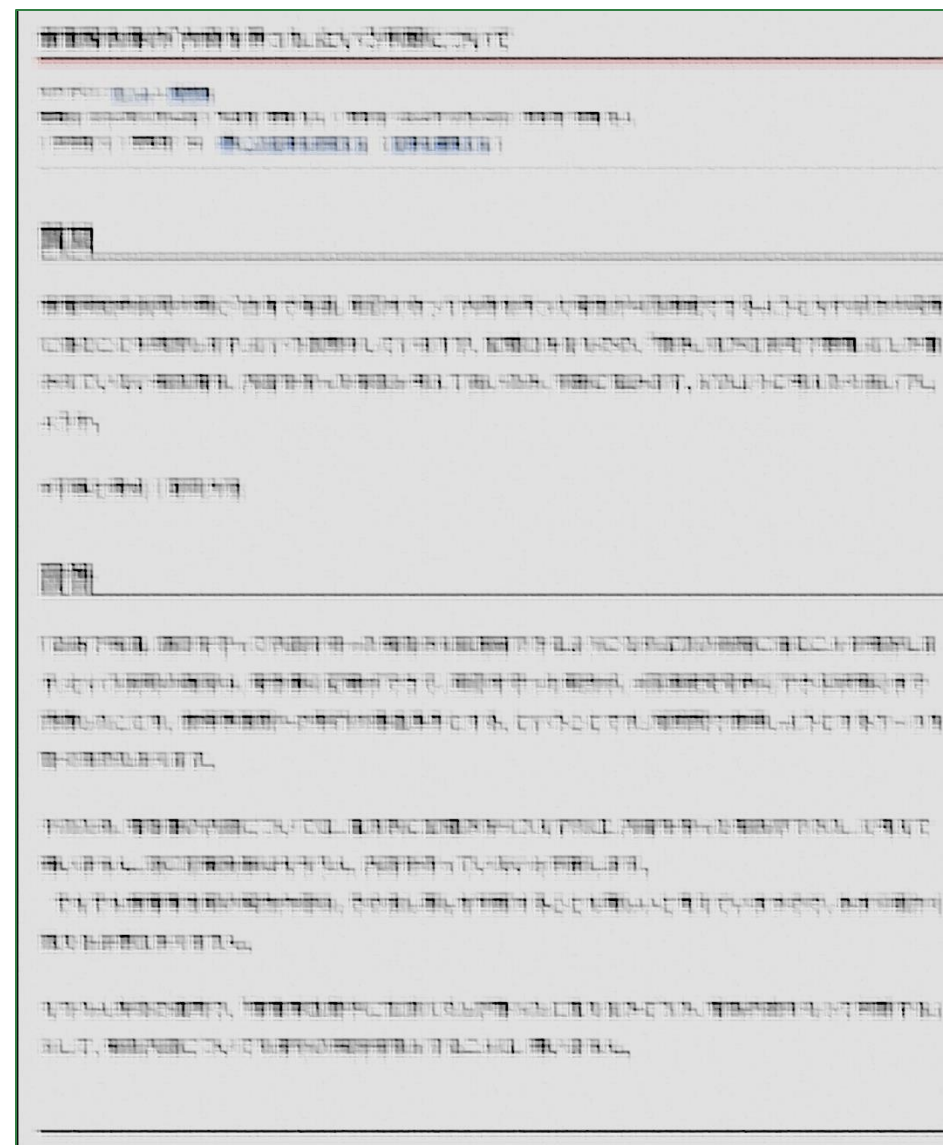
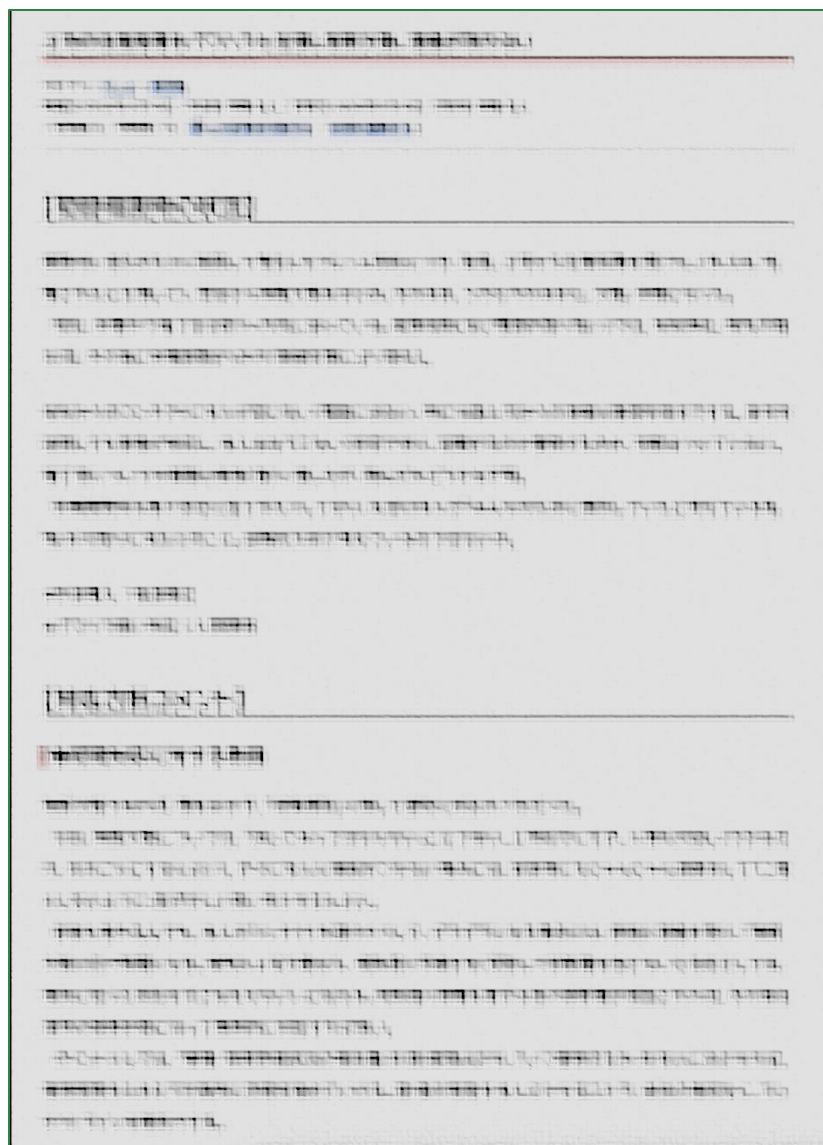
メンタルヘルス対応シリーズ

産業保健総論、メンタル対応理論編、メンタル対応の手順と様式、面接シナリオ基礎、労務管理知識、安全配慮義務とメソッド

職場の健康管理シリーズ

健康診断事後措置、過重労働対策、新型コロナ対策、ストレスチェック、喫煙・禁煙対策、有害業務・作業環境測定、化学物質の自律的管理

オンラインデータベースに収録されている事例・相談の一例



個別事例の対応支援

内容

メンタルヘルス対応の実践にあたって、個別の事例ごとに、手順と様式の運用の支援を実施します。マニュアルでの対応が難しい事例や、導入当初に軌道に乗るまでの支援にご活用いただけます。

ポイント

- ① 事例の全体的な対応方針について、助言します。
- ② 休職者との書類のやり取りをする際に、どのような返信をすればよいのかアドバイスや、面接実施時に用意するシナリオの添削を行います。
- ③ 毎月 1 事例の対応について、上記のアドバイスや添削を行います（対応する事例については、各月ごとに入れ替わりがあっても構いません）。
- ④ 事例の追加も可能です。お見積り時にご相談ください。

対応の流れ

- ① 事例共有シートを用いて、事例の概要を共有していただきます。
- ② 事例ごとに全体的な対応方針を決定します。
- ③ 休職者との書類のやり取りや面接を実際に行っていただきます。
- ④ ③の際の助言や添削指導を行います。

ご対応いただく必要があること

- ① 事例共有シートにて、事例の概要を共有ください。
- ② 休職者との書類のやり取りや面接を行ってください。
- ③ 書類や面接シナリオの「案」の作成をしてください。

事例共有シート例

事例共有シート

対象者	職種：		身分：	
	年齢・性別：		雇用形態：	
	入社年：		療養開始日：	
	休職満了日：			
家族の関与：□すでに家族と連絡をとっている □連絡をとっていないがおそらく可能 □遠方のため連絡は困難 □家族がいない				

1. これまでの経緯

※通常勤務に差し支えたと判断するに至った事の発端、対象者本人の自覚、周囲の認識、人事としての考え等を記入

◇本人から聴取した内容

□パワハラがあったと考えているようだ □セクハラがあったと考えているようだ

□その他、療養が業務に起因すると考えている場合の内容

◇上司から聴取した内容

◇上記に食い違いがある場合の人事としての判断

2. 本人の希望・要望

例）お金に困る（就業には問題ない）ので働きたい、この仕事の担当から外してほしい、復職時は異動したい等、本人の使用した表現で記入

3. 本人の「本来求められる」業務内容・職務内容、および乖離状況

4. 業務遂行上、生じている/生じていた問題で、改善してほしいこと（3つ程度にまとめる）

5. 業務遂行レベル※以下の中から選択してください

□非常に高かった □職位に対する期待値と同程度かそれ以上 □職位に対して劣る

□その他（

療養直前の明らかな低下：□有り □無し（もともと、長期間にわたって左記の通りであった）

6. 備考（その他、復帰に関しての気になる点等）

© 株式会社Office d'Azur, 2025

復職名人 | 12

休職者からの療養報告とそれに対する返信例

療養・復職準備状況報告書

報告日: XX 年 8 月 5 日

☐ (ご家族代理) 療養に専念していますが、まだ報告はできる状態にありませんので、代理で報告します。
→以下の記入は不要です

☐ (本人) 療養に専念していますが、詳細な報告は負担になるかもしれないので、記述は免除をお願いします。
→以下の記入は不要です

☐ (本人) 療養を行っていますので、以下の通り状況を報告します。

☒ (本人) 復職準備を行っていますので、以下の通り状況を報告します。

療養・復職準備状況の報告	【具体的な療養・復職準備状況 (SW1H を明確に記載すること)】
※定められた期日通りに報告ができなかった場合、その理由も含めること	生活リズム (睡眠・食事) が整ったので、 日中の活動を開始した。 午前図書館、午後 3 人。
前回報告時よりも改善した点について	【前回報告日】XX 年 7 月 29 日 日中の活動を開始した。
復職時期についての自身の考え	1. そろそろ復職を検討したいと考えている ② 1 カ月以上は先になると考えている 3. まだ具体的に予定としては考えていない 4. その他 ()
上記で 1. を選択した場合、その理由	【復職準備がほぼ完了しつつあることの説明】

復職に関する主治医意見
復職に関して主治医の先生はどのようにおっしゃっていますか？
※主治医を変更した場合には速やかに届け出ること。
状況によっては療養専念期に戻ると判断することがある。

具体的に、復職検討を進める希望がある場合には、以下にチェックすること。
☐ 以上より、復職検討をお願いします。

XX 年 8 月 9 日

様

療養・復職準備報告書の受領について

8 月 5 日付の「療養・復職準備状況報告書」について、受領いたしました。療養の状況について確認したので、ご連絡いたします。ご提出頂いた療養・復職準備状況報告書から、現時点では「復職準備期」にあるものと判断しています。

なお、報告された内容からは、復職準備を進めていることは分かるものの、その内容を具体的に把握できず、この状態の報告が続いたとして、復職可能かどうかを判断することができません。元職場・元職位・元職務への復職を意識して、より具体的な内容の復職準備を進めて、毎週の報告を続けてください。

以上

面接シナリオ例

面接①

1. 導入

職員課長 本日はお忙しいところご家族にもご同席いただきありがとうございます。

当市では、休職をしている職員に対し、体調が回復するまで十分な療養の機会を設け、病気の再発の可能性が最小化された状態で復帰できるよう、新しい取り組みを進めています。具体的には、従前は曖昧であった復帰基準や復帰手順を復職プログラムとして体系化しています。

本日は、当市の復職プログラムに基づいて説明することを目的として面接を行います。なお、面接時間は〇時〇分（30分程度）までを予定しています。まずは、こちらから説明をします。質問は後ほど確認しますので、説明をしっかりと聞いてください。

2. 現状の確認

人事係長 現状について確認します。Aさんは〇月〇日より、私傷病により病気休暇を開始し、引き続き療養が必要な状態が続いたことから、〇月〇日より分限休職処分となっています。なお、休職期間は最長で3年間と定められていますので、Aさんの場合の休職期間満了日は〇年〇月〇日となっています。

3. 市から伝えたいこと

(ア) 復帰基準の説明

人事係長 続いて、当市の復職プログラムにおける復帰基準を説明します。重要なことなので、自分でもメモをしっかりと取るなどして良く理解しておくようにしてください。

市では、私傷病による休職について、地方公務員法第28条第4項及び分限条例の規程に基づき、心身の故障のため職務の遂行に支障がある場合、又はこれに堪えない場合に、3年を超えない範囲内において個々の場合について任命権者が定めることになっています。したがって、職務の遂行に支障をきたすことがなくなり、かつ、心身の故障がなくなったと判断できた場合に復職を命じることになります。

具体的には、業務基準、労務基準、健康基準の三つの観点から基準を定めており、まず業務基準として、元の職場で以前と同じ仕事ができるまで回復しているかで判断します。2ヶ月程度は時間外勤務についての配慮は行いますが、特定の業務免除や短時間勤務など他の職員とは異なる業務軽減は行いません。業務効率、質、量等は職位相当であり、復帰

後2ヶ月以内に実際に職位相当であることを示せることを求めます。

なお、復帰後2ヶ月間は職位相当最低8割を満たしていれば、直ちに再療養とはしませんが、これは、「とりあえず8割程度できそうなら復帰してもよい」という意味ではなく、あくまでも、復帰基準としては、職位相当10割の業務遂行が可能であり、全体の奉仕者としての職務遂行にあきらかな懸念がないことである点には、注意してください。

次に労務基準として、服務規程どおりに働けるまでに回復しているどうかで判断します。本疾患以外の特別な事情の時は別ですが、時間どおり出勤し、決められた仕事ができるかどうか、遅刻や早退、当日の急な休暇の申請などがなくしっかりと勤務できるかどうか、という基準で判断します。

最後に健康基準です。仕事を続けても健康な状態を安定継続的に保てられるかどうかで判断します。健康上の問題による業務への支障、及び業務による健康上の問題が発生するリスクがない、ないしは最小化されていることを求めます。

これら3つの基準を満たしている状態で、6か月以上安定継続的な勤務が見込まれることが復帰基準です。なお、当日連絡で業務に従事できないことは、有給休暇の事後的付与の問題とは別に、「勤怠上の問題」とみなし、再度療養に専念する要件に含まれることになりますので、注意してください。

簡単に言うと、「職場は働く場所」なので、全体の奉仕者として、通常勤務をしてもらわないといけません。

職員課長：今、係長から説明のあった復帰基準については、再発防止や、同部署の他の職員の負担、組織全体としての生産性、および市民の皆様への説明責任を果たすという観点から、法令や条例、規則に沿う形で、十分に合理的なものであると考えています。そのため、この基準はむしろ職員課としても守らないといけない基準であり、職員課の裁量で各個人の事情にあわせて基準を変更、特に緩和をすることはできませんし、すべきでないことも言うまでもありません。

(イ) 復帰の手順の説明

人事係長 続いて、復職プログラムにおける、復帰に向けた手順を確認しておきます。

復職プログラムには、「療養専念期」「復帰準備期」「復帰検討期」といった段階があります。第一段階である療養専念期は、体調の回復を最優先する期間です。第二段階である

復帰準備期は、後ほどご説明する復帰基準を満たすために、復帰に向けての準備を行っていただく期間です。第三段階である復帰検討期は、復帰に向けて主治医の先生の意見を聴取するなど、慎重に判断を行う期間です。

各段階をステップアップしていくところでも、それぞれの段階に応じた判断基準があり、基準をクリアしなければ、次の段階へ進むことはできません。基準をクリアできなければ復帰までに時間がかかる場合もありますが、それは、病気を再発させないよう、十分な療養と、復帰に向けた準備期間を設けるためのものだということを、ご理解ください。

なお、本日説明した手続きを適切に進めることなく、これらの段階を飛び越えて、復帰の検討をすることはできません。復帰準備が完了しつつあるものとの、人事とAさんの共通認識を確認したのちに、復帰に関する主治医意見は当市所定の様式でお尋ねすることになります。復帰の検討を行う段階にないタイミングで自由記述の主治医診断書等を提出されても、手続き上対応いたしかねますので注意してください。

(ウ) 今後の手続きの説明

人事係長 では最後に、今後の手続きについて説明します。まずは療養開始から6カ月経過していることから、現在の状況をあらためて客観的に確認します。こちらの「療養段階確認シート」に記入ください。

療養段階確認シートの記載内容から「療養専念期」か「復帰準備期」かを判断する。

●療養専念期（第一段階）と判断したとき

人事係長 では最後に、今後の手続きについて説明します。先ほどご説明した復帰の段階を踏まえると、Aさんは現在、第一段階の療養専念期にあると判断しています。引き続き十分な療養を取り、気持ちを落ち着ける生活をしながら、徐々に生活のリズムを整えていってください。

必要な手続きとして、まずはこちらの療養・復帰準備状況報告書を毎週提出してください。月曜日から金曜日の状況を記入し、翌月曜日までに到達するように、土日に投函するという流れになります。報告書の作成や提出が負担に感じる場合や、主治医からこうした記述を伴う報告はまだ早いといった判断がある場合には、ご家族にご協力いただき、該当する箇所にチェックをして報告をしてください（療養・復帰準備状況報告書と返信用封筒を4通ほど渡す）。

自身で毎週、期日を守って内容を伴った報告が4回連続できるようになれば次の段階に進みます。その際には次の段階以降についてあらためて説明します。

(オプション) 定期ミーティング

内容

事例数が多い自治体向けに、「1.メンタルヘルス対応の運用支援」で取り扱わない、他に発生している事例について、定期的にミーティングを実施して、対応方針の助言と、進捗状況の確認をいたします。

ポイント

- ① ミーティングは1回あたり1時間、年間6～12回の開催を予定しています。
- ② ミーティングで個別に対応支援が必要となった場合は、「1.メンタルヘルス対応の運用支援」で対応する事例との入れ替えて、書類のやり取りに関する助言や、面接シナリオの添削を行うことも可能です。

対応の流れ

- ① 事例共有シートを用いて、事例の概要を事前に共有していただきます。
- ② ミーティングを実施し、事例ごとに全体的な対応方針を助言、検討します。
- ③ 休職者との書類のやり取りや面接を実際に行っていただき、次のミーティングでその後の進捗を共有いただきます。

貴市にご対応いただきたいこと

- ① 事例共有シートにて、事例の概要を共有ください。
- ② 休職者との書類のやり取りや面接については、添削をいたしませんので、直接行ってください。
- ③ ミーティング出席者との日程調整を行ってください。
(基本的には、実際に対応にあたっているご担当者様の出席で十分です)

ポイント

- ① 管理者や職員を対象とした、業務遂行レベルに基づくメンタルヘルス対応に関する基本的な研修を実施します。
- ② 内容としては、業務的健康管理の考え方、実際の対応方法の概略などです。ご希望により、内容については調整いたします。
- ③ 研修は1回あたり2時間です。ご希望により、2回に分けての開催なども対応いたします。
- ④ 基本的には、対面で実施します。

対応の流れ

- ① 日程を調整いただき、庁内のアナウンス等をしていただきます。
- ② 研修日に訪問し、研修を実施します。

貴市にご対応いただきたいこと

- ① 研修計画の立案、日程調整、会場の準備、参加者への案内等をお願いします。
- ② 当日の資料の印刷、配付等をお願いします。

ポイント

- ① 業務遂行レベルに基づくメンタルヘルス対応の運用のために、規則・要綱・例規等の修正（作成）支援を行います。

対応の流れ

- ① ミーティングを実施（3回程度）し、作成や修正の方向性について確認します。
- ② ミーティング結果を踏まえて、規則等の案を作成し、提供いたします。
- ③ 案を各自治体にて添削いただき、添削した内容の確認を行います。

貴市にご対応いただきたいこと

- ① 現在、運用している人事規則・要綱をご提供ください（可能な限り編集可能なデータ）。
- ② 作成した案について、ご確認・ご修正ください。

無制限メールサポート

ポイント

契約期間中、回数や内容等の制限なく、メールでの質問等の対応をいたします。

(ベーシックプランの場合)

契約期間中、オンラインスクール内の「コミュニティ」機能を活用して、質問をしていただけます。
(内容については、会員全員に公開されます)

対応の流れ

- ① メールにて、疑問点やお悩みを質問していただきます。
- ② メールにて、質問に対して回答をいたします。

※回答した内容について、一般化できるものについては、オンラインスクールのFAQ集に掲載させていただきます。

貴市にご対応いただきたいこと

メールの窓口になる方については、1～3名程度に集約するようにしてください。

フルサポートプラン 2,540,000円（+研修実施時の旅費交通費）

- 担当者向けマニュアル・動画ツールのカスタマイズ支援（無期限使用可）
- 復職名人オンラインスクール（1年間）
- 個別の事例対応支援（月1事例分が1年間）
- 導入および運用に関する支援のための定例MTG（2ヶ月に1回）
- 管理職向け・職員向け研修の実施（1回2時間）
- 規程類の改正・策定支援
- 無制限メールサポート

スタンダードプラン 660,000円（+ 研修実施時の旅費交通費）

- 担当者向けマニュアル・動画ツールの提供（1年間限定）
- 復職名人オンラインスクール
- 個別の事例対応支援（月1事例分が1年間）
- 管理職向け・職員向け研修の実施（1回2時間）
- 無制限メールサポート

※2年目以降も同一プランでの継続可能です。また、マニュアル＋動画＋オンラインスクールのための**継続プラン（200,000円）**も選択可能です。

ベーシックプラン 480,000円

- 担当者向けマニュアル・動画ツールの提供（1年間限定）
- 復職名人オンラインスクール
- 個別の事例対応支援（月1事例分が1年間）

※2年目以降も同一プランでの継続可能です。また、マニュアル＋動画＋オンラインスクールのための**継続プラン（200,000円）**も選択可能です。

パイロット事業のご案内

弊社サービスを試験的にお試しください
パイロット事業を随時実施しています。

目的 | 復職プログラムの運用の試行を通して、本格的な導入について検討いただきます

期間 | 半年程度 ※参加費は無償です。

1. メンタルヘルス対応の運用支援と同等の支援を、1～2事例を対象に実施します。
2. 復職名人オンラインスクールのお試しとして、1アカウントを発行し、パイロット事業の期間中お試しいただけます。

- 対応において、人事部門の関与を得られること
- こちらの助言や作成するシナリオに基づき、実際にご対応いただけること
- 業務遂行レベルに基づくメンタルヘルス対応の考え方に賛同していること

パイロット事業に関する、オンライン個別相談会を開催いたします。ぜひご参加ください

- 関係者の説得にあたって、疑問が生じると思いますので、ご質問にお答えいたします。
- 困った事例への対応についても、その場でご助言いたします。
- 個別相談会の予約方法について、別途メールにてご案内いたします。